



秋田駒ヶ岳 国見温泉～阿弥陀池

平成17年7月15日

横長根をたどり大焼砂分岐より
馬場の小路に入ってすぐのところにあります。

日本有数のコマクサ群落地です。
写真では雰囲気は伝わりませんが
黒色の砂礫が薄いピンク色に染まる感じです。

馬場の小路を行く「こもれび」と吹田労山のメンバーです。
(前より小森田、[林]、[桑山]、小見山、青山、
月足、(写)太田 []は吹田労山
池塘が点在する谷をたどり、最後は男岳分岐
に突き上げます。
明るい開けた気持ちのいい道です。
雪渓も溶けて沢山の花が一斉に咲いていま
す。



男岳分岐を越えるといきなり阿弥陀池が眼下
に現れます。
澄み切った池の向こうに今夜の宿、阿弥陀池
避難小屋が見えます。

小屋は大変きれいで立派です。
定員15人ちょうど位の宿泊者でした。

まだ明るかったので秋田駒の最高峰、男女岳
(1637m)にピストンしました。
さえぎる物は何もないので、条件が合えば
八幡平など見えるはずですが。
今回は岩手山の薄い山影が望めました。
明日は写真向かい左の横岳を経て湯森山に
向かいます。



男女岳より見た男岳(1623m)です。
今回は登りませんでした。
女岳もありますが登山の対象ではないようです。

山の右斜面の田沢湖が見えます。
湖底は日本最深で魚などは生息していないそう
です。(硫黄流入のため?)

阿弥陀池～乳頭温泉

平成17年7月16日

横岳に向かう途中で、昨日歩いた横長根（右上雲の中）と噴火口を持つ小岳の左馬場の小路を振り返ります。
この噴火口を見ているといかにも火山の山という感じがします。
最新の噴火は昭和45年です。



湯森山手前から男女岳（右）、阿弥陀池、男岳を振り返ります。

手前右はニッコウキスゲ、下には花の終わったチングルマなど4種類ほどの花々が色彩を添えてくれました。

黎明の湯森山に行くメンバー、時計を見るとちょうど5時です。

太陽も出て今日も一日良い天気です。
この辺の山は丸い穏やかな形ですが火山灰の粘土状の地面はよく滑って何度か転倒しました。



熊見平の湿原

ニッコウキスゲとコバイケイソウの群落です。

アルプスに比べ緯度が北にあること、やませの風の冷風で標高が1000mも低いにも関わらず同じ高山植物が分布しているそうです。

千沼ヶ原入口手前で見た水芭蕉

千沼ヶ原には巨大葉っぱの水芭蕉があったがここまになると可愛くないとの声がありました。

この後乳頭山を経て乳頭温泉「黒湯」の秘湯で汗を流して帰途につきました。

